

地域公共交通のこれからを考える

～高齢者・住民の人権保障のために～

高齢化や人口減少、過疎化等の進行で住民の生活の足の確保が切実な課題になっています。交通は基本的人権の一部といわれます。しかし、自治体が導入したコミュニティバスやデマンド交通は利用のあり方や財源確保など多くの課題を抱えています。また、公共交通の担い手でもあるバスやタクシー事業者はコロナ禍による利用者の大幅減により厳しい状況にあります。

この講座では、埼玉県内の豊富な調査をもとに特別交付税の利用など財政問題も含めて地域公共交通の抱える課題とこれからのあり方について考えます。

❖講師 渡辺 繁博氏 (埼玉自治体問題研究所事務局長)

山梨県生まれ。1973年上尾市役所入庁。都市計画課、社会福祉課等を経て最後の2年間健康推進課(上尾市保健センター)に勤務し、2010年3月に定年退職。

【受託調査と財政分析】埼玉県内朝霞市、熊谷市等多数の財政分析、埼玉県行財政の現状と課題に関する調査報告書など。元國學院大學経済学部兼任講師、医療生協さいたま有識者理事、埼玉県社会保障推進協議会副会長。

❖日時 2020年7月18日(土) 13:30～16:00

❖会場 宇都宮市文化会館 第2会議室

(〒320-8570 宇都宮市明保野町 7-66 TEL. 028-636-2121)

❖参加費 議員 2000 円/会員 1800 円、一般 1000 円/会員 800 円

❖参加申し込みは、FAXかメールでお願いします。

・コロナ感染症対策のため参加は30名までとさせていただきます。

主催 とちぎ地域・自治研究所

〒321-0218 壬生町落合1-15-5 ポラーノ・どんぐり103号

TEL/FAX 0282(83)5060 E-mail support@tochigi-jichiken.jp

第18期とちぎ自治講座：地方議員研修会受講申込書

(上記連絡先あて、Fax 又は E-mail で)

氏名	住所
電話番号	所属団体・勤務先等